



環境と関わりの深いエネルギー事業者として、 低炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

地球温暖化防止に向けて、「ニューERA戦略」を推進しています。

発電時のCO₂を削減する。系統電力の低炭素化に取り組んでいます。

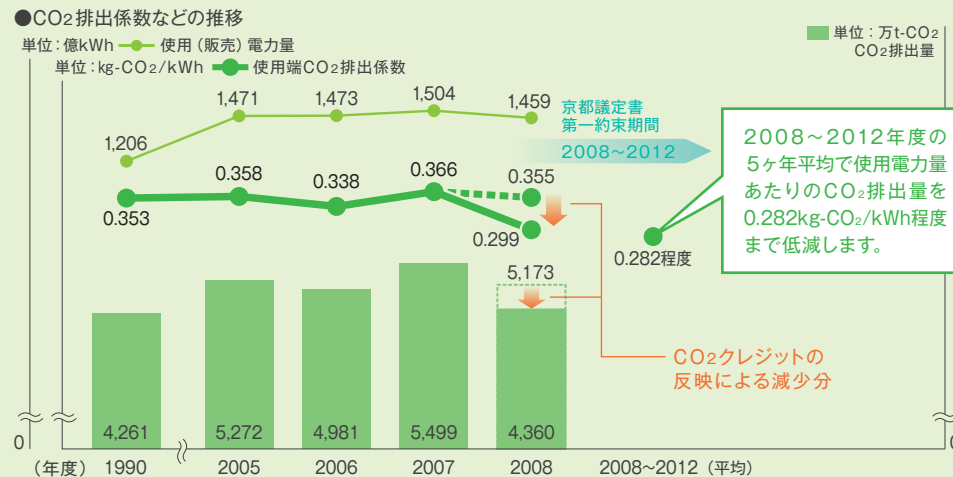
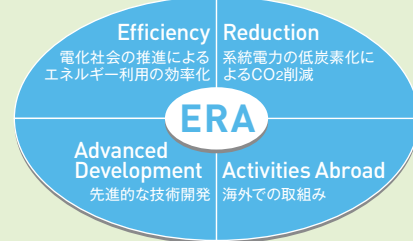
エネルギーの効率的な利用をめざして、電化社会の推進に取り組んでいます。

関西電力は、地球温暖化防止の総合的な対策「ニューERA戦略」を推進しています。これはエネルギー利用の効率化、CO₂の排出量削減をグローバルに展開していくものです。そして低炭素社会の実現に向けて、環境と関わりの深いエネルギー事業者としての自覚を持ち、「系統電力の低炭素化」と「電化社会の推進」に取り組んでいます。

関西電力は、「ニューERA戦略」の推進によって、使用(販売)電力量あたりのCO₂排出量(CO₂排出係数)の低減、いわゆる系統電力の低炭素化に努めています。安全を最優先に発電時にCO₂を出さない原子力発電の利用を促進するとともに、火力発電の一層の熱効率向上、水力発電の機能向上をはかります。さらに、太陽光発電や風力発電といった新エネルギーの事業化をすすめるなど、CO₂排出係数のさらなる低減をめざしています。

低炭素社会を実現するためには、化石エネルギーへの依存を減らすことが大切です。関西電力では、化石エネルギーの直接利用からCO₂排出量の少ない電気利用へ転換していただくことで、社会全体のCO₂排出量を低減できると考えます。さらに、ヒートポンプシステムや電気自動車などエネルギーを効率的にご利用いただける電気利用機器の導入促進・普及拡大に取り組むことで、電化社会を推進します。

●「ニューERA戦略」の概要



◎CO₂排出係数の実績

2008年度のCO₂排出係数は、京都メカニズムを活用したCO₂クレジットの反映により大幅に減少し、0.299kg-CO₂/kWh※となりました。

※ 暫定値であり、正式には「地球温暖化対策の推進に関する法律」などに基づき国から実績値が公表されます。

関西電力調べ

※2005年度以降の数値は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」上の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」に基づき、計算しています。なお、本制度ではグリーン電力証書などのCO₂削減価値は考慮されておりません。

●電気使用によるCO₂排出量の計算方法

お客様の電気の使用によるCO₂排出量は、「電気のCO₂排出係数」に「お客様の電気使用量」をかけることにより算出できます。

$$\text{CO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{)} = \text{電気のCO}_2\text{排出係数 (kg-CO}_2\text{/kWh)} \times \text{お客様の電気使用量 (kWh)}$$

$$\text{電気のCO}_2\text{排出係数 [使用(販売)電力量あたりのCO}_2\text{排出量]} = \frac{\text{発電に伴うCO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{)} - \text{CO}_2\text{クレジット (kg-CO}_2\text{)}}{\text{販売電力量 (kWh)}}$$

なお、電気事業者別の電気の使用端CO₂排出係数については、毎年、国から公表されます。

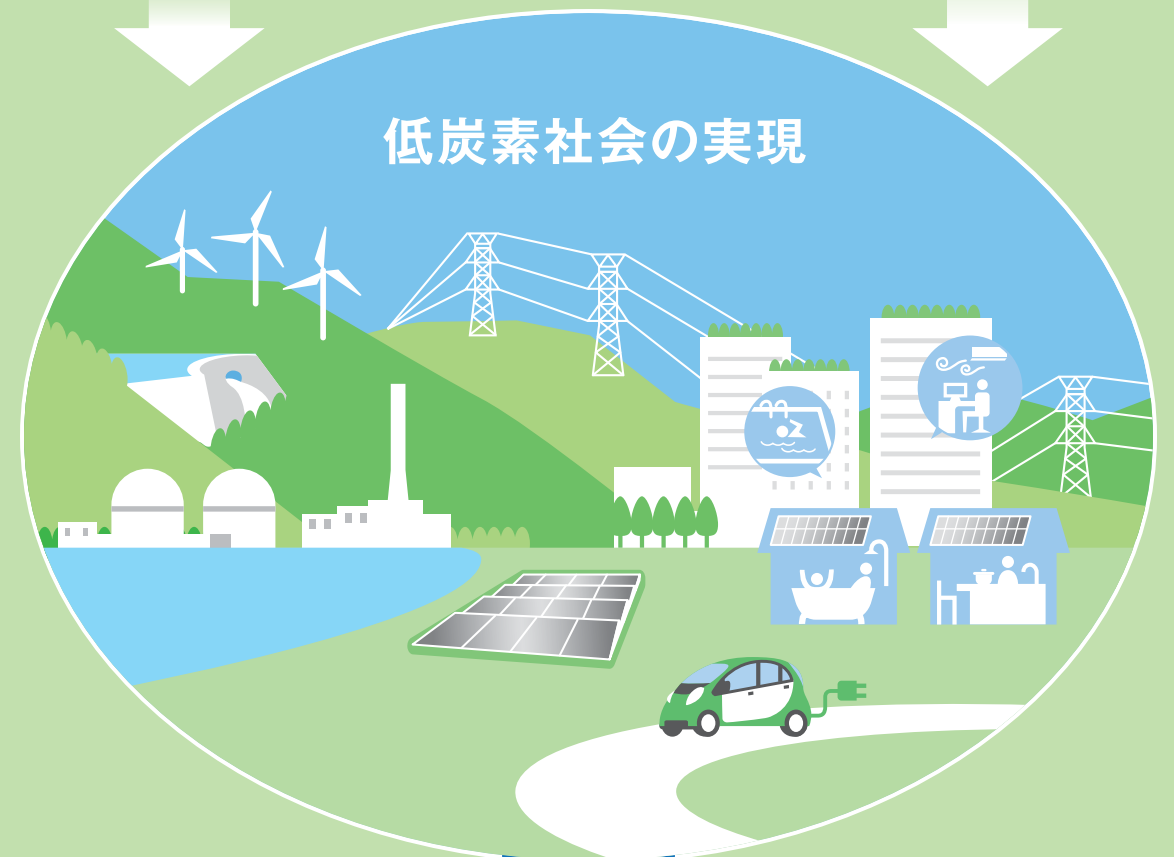
— 関西電力の低炭素社会の実現に向けた貢献イメージ —

系統電力の低炭素化

- 原子力発電所の安全・安定運転
- 火力発電所の熱効率向上
- 水力発電所の安定運転・機能向上
- 再生可能エネルギーの推進

電化社会の推進

- ヒートポンプ技術による高効率機器の普及拡大
- 電気自動車の導入・普及



海外での温暖化対策

- ツバル国に太陽光発電を設置
- ブータン王国に小規模水力発電所を建設
- オーストラリアで環境植林を実施

革新的技術の開発

- CO₂の分離・回収技術の開発
- 高効率電気利用機器の開発

地球温暖化防止